

カンガサーラの夏の日

作詞 サカア・トベリウス
作曲 ガブリエル・リセン

ハルユラの 空に浮かぶこずえから
見渡すかぎり 幾万もの湖が
彼方まで 果てしなく続く

陽射しをあびてランゲルマンヴェジの入江は
銀色にきらめくボンのよう
美しいロイネのさざなみは 湖岸にそと口づなをする

私は小鳥 かよむ翼の小鳥
もし私が驚ならば 雲の上まで舞い上がり
空高く どこまでも

神のもとまで飛んでゆき
ひざまづき 祈りをこめて歌おう
私の願いが届くよう さえずろう

神よ 慈悲深き我らの父よ
あなたの創造した世界は何と美しきことか
あなたの空は晴れわたり何と清きことか

神よ この湖に愛と平和の輝きを映したまえ
父よ 教えたまえ
美しきこの大地への熱き思いを

この和訳詩を東山すみ夫人に捧げます

和訳 チナミ・フクイ・ヘイキ・マエノ
和訳詩はカンガサーラ大学アレヘム施設による和訳に基づいています

